

独自の水素センシング技術で水素社会の安全対策に貢献

株式会社村上技研産業



防爆形炎検知装置（型式：BFL-3WW）

創立以来、「先進の技術、先駆の発想思想」を第一義とし、機電一体の装置開発に取り組み、確実で信頼性の高いセンサ・電子機器を社会に送り出し、多大な信用をいただいております。

1979年5月、社名を株式会社村上技研産業に改名し会社設立。創立以来の気鋭の気風に、グローバル時代に対応しうる技術力を磨き、他社にはないFA分野・測量分野・セキュリティ分野において独自性あるオンリーワン製品で、一層の飛躍を目指しています。

水素関連の取組・導入実績

水素ステーションのディスベンサ、蓄圧器等に対して水素炎やその他火気監視の安全設備として防爆形炎検知装置を多数採用して頂いております。防爆形炎検知装置は肉眼では見えにくい水素炎をすみやかに検知することができます。

これは、炎と共に放射される紫外線に基づいて検知するもので、独自の信号解析手法を用いることによって高感度であるとともに太陽光などの影響を受けにくい特長があります。（紫外線式水素炎検知のPATは弊社取得済みです。）

新たな水素ガス検知方式として光学式水素ガス検知スイッチを開発。光学式水素ガス検知スイッチはセンサ素子(合金薄膜)が水素ガスと反応し、色彩が変わる事により水素ガスを検知します。（PAT取得済みです。）

センサ素子に直接電流を流さないため、防災上非常に安全。また無酸素環境の水素ガスや気流状の水素ガスも検知可能です。（PAT取得済みです。）

今後の展開・事業計画

水素ステーションのセンサにとどまらず、水素の製造から運搬、貯蔵までの安全設備としての展開。

また陸上だけでなく海洋での水素利用を想定し、海洋分野でも対応可能なセンサの開発を進めております。



防爆形炎検知装置（型式：BFL-3WW）



光学式水素ガス検知スイッチ（型式：H-10S）

企業プロフィール

所在地	大阪府和泉市池上町3丁目9番55号		
設立年月	1979年5月	資本金	1,000万円
代表者	代表取締役 村上 考一	WEBページ	https://www.murakamigiken.co.jp/



担当部署

部署名	営業技術部
TEL	0725-45-0321
E-mail	murakami@murakamigiken.co.jp